

町田市高齢者福祉計画 2018年度 進捗状況評価結果

＜目次＞

1 主な取組の進捗評価結果一覧	1
2 基本目標・基本施策別 主な取組の進捗評価 集計結果	2
3 主な取組の進捗評価結果(詳細)	3
基本目標 1 地域参加と生きがいづくりの推進	3
基本目標2 住み慣れた地域での生活継続の推進	8
基本目標3 自分に合った施設や住まいの選択	16
基本目標4 安心して介護保険サービスを利用できる環境づくり	20

町田市高齢者福祉計画 2018年度進捗状況評価結果について

1 主な取組の進捗評価結果一覧

基本目標	基本施策	施策	事業名	進捗評価
1	(1)	①生きがい・集う場づくりの支援	ア 老人クラブ育成事業	○
			イ 高齢者スポーツ普及事業	○
			ウ ふれあい館(高齢者福祉センター)機能の検討	○
	(2)	②就労の機会を確保する取組	ア シルバー人材センター振興事業	○
			ア 高齢者の健康づくり	○
			カ 介護予防ケアマネジメント	○
			キ 短期集中型サービス	○
			ク 地域介護予防自主グループ支援	◎
			ケ 町田を元気にするトレーニング(「町トレ」)	◎
	(3)	①高齢者の地域参加の推進	コ 介護予防の普及啓発	○
			ア いきいきポイント制度	△
			イ 介護予防サポートー養成事業	◎
			ウ 支え合い連絡会	○
			エ 地域活動団体型サービス	◎
			オ 市基準型サービス	△
2	(1)	①見守り支援ネットワークの地域の拡充	ア 高齢者見守り支援ネットワーク事業	○
			イ 事業者での見守り	◎
			ウ あんしんキーホルダー事業	△
	(2)	①徘徊高齢者搜索ネットワーク	ア 徘徊高齢者搜索ネットワーク	○
			イ 緊急通報システム	○
		②災害時要配慮者支援	ア 災害時要配慮者支援体制	○
			イ 福祉避難施設(二次避難施設)	○
	(3)	①適切な生活支援サービスの実施	ア 食の自立支援サービス	○
			イ 寝具洗濯乾燥消毒サービス	○
			ウ 高齢者のための暮らしのてびきの作成・配布	○
			エ 長寿祝金の贈呈	○
			オ 高齢者無料入浴券の配布	○
			カ 高齢者調髪券の交付	○
	(4)	①身近な相談体制の強化	キ シルバー調髪カード発行事業	○
			ク 在宅高齢者紙おむつ支給事業	○
			ア 高齢者支援センター運営事業	○
			イ もの忘れ相談事業	○
	(5)	①認知症高齢者支援	ア 認知症サポートー養成講座事業	○
			イ 町田市認知症施策推進協議会の開催	○
		②認知症高齢者の家族への支援	ア 臨床心理士等による介護者等相談	○
			イ 家族介護者教室	○
	(6)	③家族介護者の負担軽減となる支援	ア 家族介護者交流会	○
			イ 行き届きのための情報発信	○
		①成年後見制度への支援	ウ 徘徊高齢者家族支援サービス事業	○
			ア 成年後見制度への支援	○
3	(1)	①在宅生活継続の支援	イ 市民後見人の活用	○
			ア 高齢者虐待防止連絡協議会	○
		②多様な住まいの普及	イ 高齢者虐待防止の啓発	○
			ア 高齢者住宅設備改修給付事業	△
	(2)	①地域に密着した介護保険サービス施設の整備推進	ア 高齢者住宅の普及	住宅型有料老人ホーム ○ 軽費老人ホーム(ケアハウス含む) ○ サービス付高齢者向け住宅 ○
			イ 有料老人ホーム(介護付・介護専用)の普及	○
			ウ 養護老人ホーム	○
	(3)	①特別養護老人ホームなどの施設整備の推進	ア 地域密着型サービス整備	認知症高齢者グループホーム ○ 認知症対応型デイサービス (看護)小規模多機能型居宅介護 ○
			ア 広域型介護保険施設整備	特別養護老人ホーム ○ 介護老人保健施設 ○
4	(1)	①介護保険サービスの質の向上	ア 福祉サービス第三者評価受審助成等事業	○
			イ 介護相談員派遣事業	○
			ウ ケアマネジメントの充実	○
	(2)	①介護人材の育成・確保の支援	ア 介護人材開発事業	○
			ア 認知症電話相談	△
	(3)	①医療と福祉の連携	イ 認知症地域支援推進員の育成	○

2 基本目標・基本施策別 主な取組の進捗評価 集計結果

基本目標	基本施策	進捗評価の構成割合		
		◎	○	△
1 地域参加と生きがいづくりの推進		26.7%	60.0%	13.3%
(1) 高齢者の生きがい・集う場づくり【重点】		0.0%	100.0%	0.0%
(2) 健康づくり・介護予防の推進【重点】		33.3%	66.7%	0.0%
(3) 地域の担い手づくり		40.0%	20.0%	40.0%
2 住み慣れた地域での生活継続の推進		7.4%	88.9%	3.7%
(1) 見守り支援ネットワークの推進【重点】		33.3%	33.3%	33.3%
(2) 要配慮高齢者支援		0.0%	100.0%	0.0%
(3) 生活支援サービスの実施		0.0%	100.0%	0.0%
(4) 高齢者支援センターの機能の充実【重点】		0.0%	100.0%	0.0%
(5) 認知症高齢者及び家族介護者支援【重点】		0.0%	100.0%	0.0%
(6) 高齢者の権利擁護		25.0%	75.0%	0.0%
3 自分に合った施設や住まいの選択		0.0%	90.9%	9.1%
(1) 高齢者の住まいの選択肢拡大		0.0%	83.3%	16.7%
(2) 地域に密着した介護保険サービスの提供【重点】		0.0%	100.0%	0.0%
(3) 介護保険施設の整備【重点】		0.0%	100.0%	0.0%
4 安心して介護保険サービスを利用できる環境づくり		33.3%	50.0%	16.7%
(1) 介護保険サービスの質の向上		33.3%	66.7%	0.0%
(2) 介護人材の育成・確保		100.0%	0.0%	0.0%
(3) 保健・福祉・医療の連携		0.0%	50.0%	50.0%
5 介護保険事業の円滑な運営		介護保険事業計画において評価		
(1) 介護保険施設の整備				
(2) 地域支援事業の実施				
(3) 介護給付・運営の適正化				
合計		13.6%	78.0%	8.5%

＜凡例＞

- ◎…計画以上に進んでいる
- …計画どおり進んでいる
- △…計画どおり進んでいない

3 主な取組の進捗評価結果(詳細)

基本目標 1	地域参加と生きがいづくりの推進	
基本施策 (1)	高齢者の生きがい・集う場づくり【重点】	計画p.46~/修正p.9~

施策 ① 生きがい・集う場づくりの支援

事業名	ア. 老人クラブ育成事業		
評価	指 標	老人クラブ数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	継続	122クラブ ○
	2018年度		123クラブ ○
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 町田市老人クラブ連合会主催の各種事業支援を行いました。 補助金申請書式等の簡素化、郵送による活動内容報告も取入れ、対面報告の簡略化を図りました。 		
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 老人クラブ会員の高齢化が課題であり、新規加入促進のためのPRを図る必要があります。 クラブ運営の簡素化、単純化を図り組織しやすい環境を支援していきます。 		
事業名	イ. 高齢者スポーツ普及事業		
評価	指 標	大会等参加者数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	継続	1,639人 ○
	2018年度		1,653人 ○
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 市主催大会を3回開催しました。(市主催大会以外に町田市ゲートボール協会主催大会は5回) ゲートボール初心者教室の周知を行い、参加者を募りました。 		
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ゲートボール競技者人口の高齢化が課題となっています。 市主催大会の開催と周知を継続して行います。 		
事業名	ウ. ふれあい館(高齢者福祉センター)機能の検討		
評価	指 標	-	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	管理運営体制の見直し	介護予防スペースへの改修(2館) ○
	2018年度		長寿号運行ルートの見直し ○
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 2019年度から始まる管理運営体制の見直しに備え、課題の整理等を行いました。 利用者の拡大を目的として、送迎バス(長寿号)の運行ルートの見直しを行いました。 		
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 2019~2020年度に管理運営体制の見直し検討を行い、2021年度に実施します。 		

施策 ② 就労の機会を確保する取組

事業名	ア. シルバーハンズセンター振興事業		
評価	指 標	会員数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	継続	2,764人 ○
	2018年度		2,804人 ○
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> シルバーハンズセンターが行う高齢者の就業機会の提供について、支援を行いました。 シルバーハンズセンターの広報活動として、町内会・自治会にパンフレットの回覧を依頼しました。 イベント等で就業の様子を周知し、会員増加につながるよう支援を行いました。 		
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、高齢者の就業機会の提供、会員増加について、支援を行います。 自主財源を中心とした組織運営ができるように、支援を行います。 		

基本目標 1	地域参加と生きがいづくりの推進	
基本施策 (2)	健康づくり・介護予防の推進【重点】	計画p.48~/修正p.10~

施策 ① 高齢者に対する健康づくり・介護予防

事業名	ア. 高齢者の健康づくり		
評価	指 標	①特定健康診査受診率 ②後期高齢者健康診査受診率 ③健康教育実施回数	進捗評価
	目標値	実績値	
2017年度		①45.2% ②53.3% ③8回28回	△
2018年度		①45.6% ②53.4% ③27回	○
2019年度			
2020年度		一般健康教育事業に限定して計上していましたが、健康教育全体の回数に修正。	
2021年度	①60% ②60% ③継続		

2018年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 2018年度の特定健康診査受診率は、受診勧奨をさらに強化したことにより、2017年度実績を0.4ポイント上回る45.6%となる見込みです。 2018年度の後期高齢者健康診査受診率については、引き続き健康診査の周知活動を行うことによる受診率の維持向上を図り、2017年度実績を0.1ポイント上回る53.4%となる見込みです。 健康教育参加者に占める高齢者の割合は2018年度は46.7%で、2017年度の35.1%から11.6%増となりました。
------------------	---

課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、特定健康診査受診率・後期高齢者健康診査受診率の向上や、高齢者の健康づくりについての普及啓発に、担当課と連携しながら取り組みます。 高齢期を迎える前に予防医学的なアプローチをすることで健康づくり・介護予防に効果が出る病態があることから、若年層や現役世代の参加者数の増加を図ります。
-------------	---

事業名	力. 介護予防ケアマネジメント		
評価	指 標	介護予防ケアマネジメントに関する地域ケア個別会議実施	
	目標値	実績値	進捗評価
2017年度		検討	○
2018年度		モデル会議実施	○
2019年度			
2020年度			
2021年度	実施		

2018年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 市主催のモデル会議を計8回(16事例)実施しました。実施にあたっては、市、高齢者支援センター、アドバイザーの三者による検討チームを立ち上げ、会議フレームの計画から前期モデル会議実施、その振り返りから改善点を検討、後期モデル会議を実施と、検討チーム協働でPDCAサイクルに基づき、事業を進めました。 次年度からの本格実施に向け、研修会を実施し、会議目的や概要について共有理解を深めました。
------------------	--

課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 2018年度はモデル会議ということから、有志の支援センターの参加であったため、全市的に取組みを進める必要があります。2019年度は市内の全支援センターが関わるよう、取り組みを進めていきます。 会議の運営方法の検討や検討事例の管理及びフォロー等、引き続き、検討します。
-------------	--

事業名	キ. 短期集中型サービス		
評価	指 標	目標達成率	
	目標値	実績値	進捗評価
2017年度		73%	○
2018年度		76%	○
2019年度			
2020年度			
2021年度	75%		

2018年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 市内5圏域で5教室開催し、利用者72人中55名が3ヶ月間の運動トレーニングを通して、生活機能の維持・改善に向けた目標を達成しました。 当事業に携わるリハビリテーション専門職のスキルアップのための研修を実施し、サービスの質の向上を図りました。
------------------	---

課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、リハビリテーション専門職と連携し、サービスの質の向上に向けた取組を推進することで目標の達成率の向上(利用者の生活の質の向上)に繋げます。
-------------	---

事業名		ケ. 地域介護予防自主グループ支援		
評価	指 標	介護予防に資する活動団体数(累計)		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度		265団体	○
	2018年度		294団体	◎
	2019年度			
	2020年度			
2021年度		274団体		
2018年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者支援センターにおいて、19教室(脳いきいき教室12教室、地域介護予防教室7教室)を開催し、教室終了時には17団体(脳いきいき教室12団体、地域介護予防教室5団体)の自主グループが立ち上りました。 ・上記の新規立ち上げ団体に加え、既に活動をしている自主グループ12団体が介護予防に協力いただけるグループとして高齢者支援センターと関わりを持つことができ、計29団体の増加となりました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き、自主グループの立ち上げや活動継続を支援していきます。 		

事業名		ケ. 町田を元氣にするトレーニング(「町トレ」)		
評価	指 標	「町トレ」のグループ数(累計)		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度		65団体	○
	2018年度		119団体	◎
	2019年度			
	2020年度			
2021年度		108団体		
2018年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・住民向けのプレゼンテーションの実施や「総合健康づくりフェア」等での周知活動を行い、グループの立ち上げを希望する住民団体に対して立ち上げ支援(スタート応援講座)及び継続支援を行いました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き町トレの周知に努め、希望する住民団体に対して立ち上げ支援及び継続支援を行います。 		

事業名		コ. 介護予防の普及啓発		
評価	指 標	-		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度	継続	継続	○
	2018年度		継続	○
	2019年度			
	2020年度			
2021年度				
2018年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防に関する講演会を実施しました。(計2回、309名参加) ・介護予防につながるボッチャ等のニュースポーツ体験イベントを実施しました。(1回、220名参加) ・「総合健康づくりフェア」において、町田を元氣にするトレーニング(「町トレ」)のPRを行いました。(1回、438名参加) ・介護予防月間地域型イベントを各高齢者支援センターで実施しました。(21回、延べ1066名参加) 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、市民の方に介護予防への関心や意識を高めていただけるように、各種イベントでのPRや広報媒体等を活用した情報発信を推進します。 		

基本目標 1	地域参加と生きがいづくりの推進
基本施策 (3)	地域の担い手づくり

計画p.52~/修正p.13~

施策 ① 高齢者の地域参加の推進

事業名	ア. いきいきポイント制度		
評価	指 標	①登録者数 ②活動場所数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度		①1,937人 ②234箇所
	2018年度		①2,080人 ②243箇所
	2019年度		
	2020年度	↓	
	2021年度	①2,400人 ②257箇所	
2018年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 新規登録研修会を年間で14回実施し、新たに215名が登録しました。登録施設は15施設増加し、活動拠点が増えました。 スキルアップを目的とした登録者向けの研修会を1回実施しました。 		
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 制度の周知等を実施し、引き続き、高齢者のさらなる地域貢献活動・社会参加を推進します。 		

事業名	イ. 介護予防サポーター養成事業		
評価	指 標	介護予防サポーター養成講座の修了者数(累計)	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度		918人
	2018年度		982人
	2019年度		
	2020年度	↓	
	2021年度	1,055人	
2018年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 養成講座を4回開催し、新たに78名の介護予防サポーターを養成しました。 		
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き養成講座を開催し、地域で介護予防の普及啓発ができる人材を養成します。 		

事業名	ウ. 支え合い連絡会		
評価	指 標	-	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	継続	継続
	2018年度		継続
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度	↓	
2018年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 市全域での「支え合い連絡会」を3回実施し、買い物や移動に関する地域課題について検討しました。 12高齢者支援センターで、地域課題の把握や解決を目的とした「支え合い連絡会」を97回実施しました。 		
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 買い物や移動については継続的な取り組みが必要であることから、「町田市支え合い連絡会移動(買い物)支援分会」を設置しました。今後解決に向け具体的な取り組みをすすめていきます。 12高齢者支援センターで把握された地域課題のうち、地域で解決可能な課題について、取り組みを進めます。 		

事業名		工. 地域活動団体型サービス		
評価	指 標	地域活動団体型サービス実施団体数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度		39団体	○
	2018年度		71団体	◎
	2019年度			
	2020年度			
	2021年度	59団体		
	2018年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援コーディネーターの声かけや広報での周知により、ボランティア、NPO、地域住民などが運営する「地域活動団体型サービス」に71団体（登録のみ24団体、補助金申請47団体）が登録しました。 		
	課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターの取組を中心として、「地域活動型団体サービス」実施団体の発掘や、育成を行います。 		
事業名		才. 市基準型サービス		
評価	指 標	まちいきヘルパーの養成人数(累計) ※ 第7期町田市介護保険事業計画との整合性確保のため修正。		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度	拡充	127人 65人	○
	2018年度		19人	△
	2019年度			
	2020年度			
	2021年度			
	2018年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・市基準型サービスの事業所数は、2018年4月1日時点では、通所型31、訪問型39でしたが、2019年4月1日時点では、通所型34、訪問型40となり、どちらも増加しました。 ・生活援助に特化した「まちいきヘルパー」の養成研修を1回実施しました。研修最終日には就労に向けた取組みとして、訪問介護事業者の就職説明会を行いました。 		
	課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業所の指定を引き続き行っています。 ・より多くの「まちいきヘルパー」養成に向けて、周知方法等検討していきます。 		

基本目標 2	住み慣れた地域での生活継続の推進	
基本施策 (1)	見守り支援ネットワークの推進【重点】	計画p.54~/修正p.15~

施策 ① 見守り支援ネットワークの地域の拡充

事業名	ア. 高齢者見守り支援ネットワーク事業			
評価	指 標	高齢者見守り支援ネットワーク実施の町内会・自治会数(累計)		
		目標値	実績値	進捗評価
	2017年度		52箇所	○
	2018年度		56箇所	○
	2019年度			
	2020年度			
	2021年度	60箇所		
2018年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 新たに4つの町内会・自治会が見守り支援ネットワークを構築し、累計として56町内会・自治会で見守り支援ネットワークが実施されています。 市民に見守りの普及啓発を図るため、高齢者見守り活動普及啓発講座を33回実施しました。また、地域ごとだけでなく市全体で、見守り活動を実施している団体同士の交流会を開催しました。 			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、見守り活動を実施している町内会自治会への支援を行うとともに、地域で様々な取組を行っている自主グループにも普及啓発を行い、地域での見守りの目を広げていきます。 			
事業名	イ. 事業者での見守り			
評価	指 標	見守り事業者数(累計)		
		目標値	実績値	進捗評価
	2017年度	拡充	524事業者	○
	2018年度		581事業者	○
	2019年度			
	2020年度			
	2021年度			
2018年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 市内鉄道会社や運送事業者、薬局、小売事業者など合計57事業者と協定を結び、更なる見守り体制の強化を図りました。 高齢者の見守りを行う地域住民と見守り事業者がお互いの見守り活動を知り、地域で連携するために、交流会を開催しました。 			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、引き続き見守りに協力する事業者の拡充を図ります。 			
事業名	ウ. あんしんキーholダー事業			
評価	指 標	あんしんキーholダー新規登録数		
		目標値	実績値	進捗評価
	2017年度		2,400個	○
	2018年度		2,383個	△
	2019年度			
	2020年度			
	2021年度	2,800個		
2018年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 自治会・町内会への働きかけや地域のイベントに出向いて登録会を行うなど普及啓発をし、2,383名の登録申請がありました。 累計登録者数は、21,419名です。 			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、普及啓発を行い、登録者数の拡大を図ります。 			

基本目標 2	住み慣れた地域での生活継続の推進
基本施策 (2)	要配慮高齢者支援

計画p.56~/修正p.17~

施策 ① 徘徊高齢者検索ネットワーク

事業名	ア. 徘徊高齢者検索ネットワーク
評価	指標 検索協力機関数(累計)
	目標値 繼続
	実績値 52事業所
	2017年度 ○
	2018年度 ○
	2019年度
	2020年度
	2021年度
2018年度の具体的な取組・成果	市内の鉄道会社全4社、運送事業者1社、ラジオ局1社と「認知症等の症状により行方不明になった高齢者等の情報提供に関する協定」を締結し、既存の協力機関もあわせ、高齢者が行方不明になった際に連携し対応しました。
課題および今後の方向性	引き続き、協力機関と連携を図っていきます。

事業名	イ. 緊急通報システム
評価	指標 利用者数
	目標値 繼続
	実績値 394人
	2017年度 ○
	2018年度 ○
	2019年度
	2020年度
	2021年度
2018年度の具体的な取組・成果	・慢性疾患等がある高齢者宅に通報機器を設置し、利用者の緊急時の対応を実施しました。
課題および今後の方向性	・消防庁方式の機器製造終了に伴い、消防庁方式から民間方式への切り替えを完了します。 ・利用者が増加していることから、事業の継続性の確保が課題です。

施策 ② 災害時要配慮者支援

事業名	ア. 災害時要配慮者支援体制
評価	指標 -
	目標値 拡充
	実績値 拡充
	2017年度 ○
	2018年度 ○
	2019年度
	2020年度
	2021年度
2018年度の具体的な取組・成果	・高齢者支援センターや市内の介護保険事業所等を対象に、災害時情報伝達訓練を実施し、要配慮者の安否確認や事業所等との情報連携について、確認及び検証を行いました。
課題および今後の方向性	・災害時の避難行動要支援者の迅速な避難支援のためには、避難行動要支援者名簿を活用した地域の自主防災組織等による安否確認の実行性を向上させる必要があります。今後は、より効果的な安否確認のため、同名簿の掲載項目追加や活用方法の整理を行います。

事業名	イ. 福祉避難施設(二次避難施設)
評価	指標 協定締結施設数(累計)
	目標値 拡充
	実績値 30施設
	2017年度 ○
	2018年度 ○
	2019年度
	2020年度
	2021年度
2018年度の具体的な取組・成果	・市と協定施設との連携強化を目的とした二次避難施設開設訓練は、初めての試みとして、障がい者福祉施設と合同で実施し、両施設の関連マニュアルの整合性等について検証しました。 ・市と二次避難施設協定施設の間で課題等を共有し、対策を検討するため、二次避難施設調整会議を開催し、要配慮者支援体制の強化を図りました。
課題および今後の方向性	・二次避難施設に係る取組は、最初の協定締結から約10年が経過し、その間、東日本大震災をはじめとした大規模災害を通じ、全国的に課題整理が進んでいます。2016年度には、内閣府よりガイドラインが示されており、これらに合わせて協定の見直しを行う必要があります。

基本目標 2	住み慣れた地域での生活継続の推進
基本施策 (3)	生活支援サービスの実施 計画p.58~/修正p.18~

施策 ① 適切な生活支援サービスの実施

事業名	ア. 食の自立支援サービス		
評価	指 標	利用者数(実人数)	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	実施	603人
	2018年度		589人
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	・利用者への食事の配達と安否確認を行いました。		
課題および今後の方向性	・安否確認を主目的とする事業であることから、制度趣旨の周知に努めます。		
事業名	イ. 寝具洗濯乾燥消毒サービス		
評価	指 標	利用者数(実人数)	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	実施	50人
	2018年度		49人
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	・寝具の乾燥消毒(年6回)、丸洗い(年1回)を実施しました。		
課題および今後の方向性	・制度の周知に努め、必要な方への利用を呼びかけていきます。		
事業名	ウ. 高齢者のための暮らしのてびきの作成・配布		
評価	指 標	印刷冊数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	実施	500冊
	2018年度		20,500冊
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	・市役所や市民センター及び高齢者支援センター等で配布しました。		
課題および今後の方向性	・次回刊行である2021年度に向けて、情報の整理及び収集を継続的に行います。 ・高齢者向けのイベントでも配布し、より多くの方に情報が行きわたるよう工夫をしていきます。		
事業名	エ. 長寿祝金の贈呈		
評価	指 標	贈呈人数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	実施	63人
	2018年度		64人
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	・100歳の対象者に祝金1万円を贈呈しました。また、88歳及び99歳の方へ祝詞を送付しました。 ・市内最高齢の女性(112歳)と男性(104歳)に市長が記念品と花束を贈呈し、広報に掲載しました。		
課題および今後の方向性	・今後も祝金の贈呈と最高齢の方への記念品贈呈を実施していきます。 ・88歳及び99歳に贈呈した祝詞については、デザイン等の工夫を今後もしていきます。		

事業名	才. 高齢者無料入浴券の配布		
評価	指標	交付人数	実績値
	2017年度	実施	81人
	2018年度		68人
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	・申請のあった方に入浴券を交付しました。		
課題および今後の方向性	・制度の周知に努め、必要な方への利用を呼びかけていきます。		
事業名	才. 高齢者調髪券の交付		
評価	指標	交付人数	実績値
		目標値	実績値
	2017年度	実施	6,797人
	2018年度		7,310人
	2019年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	・該当者に調髪券を交付しました。		
課題および今後の方向性	・利用者が増加していることから、事業の継続性の確保が課題です。		
事業名	キ. シルバー調髪カード発行事業		
評価	指標	発行人数	実績値
		目標値	実績値
	2017年度	実施	103人
	2018年度		116人
	2019年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	・高齢者調髪協力店ならびに高齢者福祉課窓口にて申請のあった方にシルバー調髪カードを発行しました。		
課題および今後の方向性	・制度の周知に努め、必要な方への利用を呼びかけていきます。		
事業名	ク. 在宅高齢者紙おむつ支給事業		
評価	指標	支給人数(延べ)	実績値
		目標値	実績値
	2017年度	実施	919人
	2018年度		910人
	2019年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	・新規利用申請者及び継続利用者に対して、年4回、紙おむつ及びパットを支給しました。		
課題および今後の方向性	・制度の周知に努め、必要な方への利用を呼びかけていきます。		

基本目標 2	住み慣れた地域での生活継続の推進
基本施策 (4)	高齢者支援センターの機能の充実【重点】

計画p.59~/修正p.20~

施策 ① 身近な相談体制の強化

事業名	ア. 高齢者支援センター運営事業		
指 標	①地域ケア会議運営ガイドライン作成・実施 ②設置箇所数		
評価	目標値	実績値	進捗評価
2017年度		①作成 ②12箇所	○
2018年度		①実施 ②12箇所	○
2019年度			
2020年度			
2021年度	①実施 ②検討		
2018年度の具体的な取組・成果	・地域ケア会議の役割や実施方針を明確化するために作成した「町田市地域ケア会議運営ガイドライン」に沿って、高齢者支援センターが地域ケア会議を開催しました。		
課題および今後の方向性	・都度、「町田市地域ケア会議運営ガイドライン」の改正を行い、内容の充実を図ります。		

基本目標 2	住み慣れた地域での生活継続の推進
基本施策 (5)	認知症高齢者及び家族介護者支援【重点】

計画p.63~/修正p.21~

施策 ① 認知症高齢者支援

事業名	ア. もの忘れ相談事業		
評価	指 標	実施件数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度		223件
	2018年度		209件
	2019年度		
	2020年度	↓	
	2021年度	144件	
2018年度の具体的な取組・成果	高齢者支援センターで実施する医師によるもの忘れ相談は209件でした。		
課題および今後の方向性	引き続き、認知症の方やその介護者に対する早期支援を行います。		

事業名	イ. 認知症サポーター養成講座事業		
評価	指 標	認知症サポーターの人数(累計)	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度		23,421人
	2018年度		27,443人
	2019年度	↓	
	2021年度	34,400人	
2018年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座を100回開催し、計4,022名が受講しました。特に、2018年度は小・中学生を中心とした若年層に重点を置いて開催しました。 認知症サポータ養成講座の受講者が、認知症についての理解をさらに深めるための認知症サポーターステップアップ講座を3回実施し、86名が受講し、累計受講者数は1,039名となりました。 		
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症についての普及啓発を進めていきます。 		

施策 ② 認知症高齢者の家族への支援

事業名	ア. 町田市認知症施策推進協議会の開催		
評価	指 標	-	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	継続	継続
	2018年度		継続
	2019年度	↓	
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	町田市認知症施策推進協議会を年2回開催し、認知症初期集中支援チーム事業の活動や認知症カフェの開催等について協議しました。		
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、認知症施策推進協議会を開催し、町田市の認知症施策の検討を行います。 		
事業名	イ. 臨床心理士等による介護者等相談		
評価	指 標	実施件数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度		184件
	2018年度		189件
	2019年度	↓	
	2021年度	144件	
2018年度の具体的な取組・成果	高齢者支援センターで実施する臨床心理士による相談は189件でした。		
課題および今後の方向性	引き続き、認知症の方やその介護者に対する早期支援を行います。		

施策 ③ 家族介護者の負担軽減となる支援

事業名	ア. 家族介護者教室		
評価	指 標	実施回数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度		25回
	2018年度		24回
	2019年度		
	2020年度	▼	
	2021年度	24回	
2018年度の具体的な取組・成果	・家族介護者教室を24回開催しました。		
課題および今後の方向性	・引き続き、各高齢者支援センターで家族介護者教室を開催します。		
事業名	イ. 家族介護者交流会		
評価	指 標	実施回数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度		105回
	2018年度		99回
	2019年度		
	2020年度	▼	
	2021年度	72回	
2018年度の具体的な取組・成果	・家族介護者交流会を99回開催しました。		
課題および今後の方向性	・引き続き、各高齢者支援センターで家族介護者交流を開催します。		
事業名	ウ. 徘徊高齢者家族支援サービス事業		
評価	指 標	徘徊高齢者家族支援サービス利用者数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度		60人
	2018年度		83人
	2019年度		
	2020年度	▼	
	2021年度	90人	
2018年度の具体的な取組・成果	・ホームページ等で事業の周知をするとともに、行方不明となった高齢者の家族に対して事業案内を行い、利用促進を図りました。		
課題および今後の方向性	・引き続き、事業の周知を行い、利用促進を図っていきます。		

基本目標 2	住み慣れた地域での生活継続の推進
基本施策 (6)	高齢者の権利擁護

計画p.67~/修正p.23~

施策 ① 成年後見制度への支援

事業名	ア. 成年後見制度への支援		
評価	指 標	高齢者支援センターへの相談件数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	継続	238件
	2018年度		294件
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 権利擁護に関するパンフレットを市民や市内の介護事業者等に配布して、権利擁護に関する普及啓発を図りました。 		
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、権利擁護に関するパンフレットの配布による普及啓発を行います。 		

事業名	イ. 市民後見人の活用		
評価	指 標	登録人数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	継続	37人
	2018年度		51人
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 2014年度から、市民後見人育成研修を市独自で開始しました。 市民後見人育成研修の修了生14人が最終面接後に市民後見人として登録され、累計登録人数は51人となりました。 2017年度から第3期市民後見人育成研修を実施し、2018年度は8人が実務者研修を修了しました。 		
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 2019年度から第4期市民後見人育成研修を開始します。 市民後見人の登録者数増加に伴い、市民後見人同士の情報共有やネットワークづくりへのニーズが高まっています。 フォローアップ研修だけではなく、ネットワークづくりのためのミーティングなどの場を設定し、市民後見人同士の交流を促進します。 		

施策 ② 高齢者の虐待防止事業

事業名	ア. 高齢者虐待防止連絡協議会		
評価	指 標	協議会の回数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度		2回
	2018年度		2回
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度	2回	
2018年度の具体的な取組・成果	情報共有、事例協議を目的として、障がい福祉課と共同で、高齢者・障がい者虐待防止連絡協議会を開催しました。		
課題および今後の方向性	虐待者の支援も含めて障がい者・高齢者への権利擁護について各機関との連携を図っていきます。		

事業名	イ. 高齢者虐待防止の啓発		
評価	指 標	研修会やパンフレット配布	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	継続	実施
	2018年度		実施
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 介護人材開発センターと連携して、施設や高齢者支援センターなどの職員向けに権利擁護等の研修を行いました。 権利擁護に関するパンフレットを市民や市内の介護事業者等に配布して、権利擁護に関する普及啓発を図りました。 		
課題および今後の方向性	施設や団体に対し、早期の気づきによる虐待防止を目的として、啓発を行います。		

基本目標 3	自分に合った施設や住まいの選択
基本施策 (1)	高齢者の住まいの選択肢拡大

計画p.70~/修正p.24~

施策 ① 在宅生活継続の支援

事業名	ア. 高齢者住宅設備改修給付事業		
評価	指標	利用件数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	継続	86件 ○
	2018年度		83件 △
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	高齢者が安心して在宅生活を継続できるよう、改修費用の一部を83名に対し給付しました。		
課題および今後の方向性	・今後も高齢者の在宅生活の継続のため、住宅改修研修会等を通じて、ケアマネジャー・高齢者支援センター職員に事業の周知を行い、適切な制度利用を推進します。		

施策 ② 多様な住まいの普及

事業名	ア. 高齢者住宅の普及(住宅型有料老人ホーム)		
評価	指標	①施設数 ②定員数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	継続	①10施設 ②365人 ○
	2018年度		①10施設 ②376人 △
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	・老人ホームなかまち(20人)が廃止し、老人ホームばんば(31人)が開設しました。		
課題および今後の方向性	・利用状況や市内における整備率の推移を注視します。		

事業名	ア. 高齢者住宅の普及(軽費老人ホーム) ※ケアハウス含む		
評価	指標	①施設数 ②定員数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	継続	①2施設 ②70人 ○
	2018年度		①2施設 ②70人 △
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	・整備計画がないため、実績はありませんでした。		
課題および今後の方向性	・特になし。		

事業名	ア. 高齢者住宅の普及(サービス付高齢者向け住宅)		
評価	指標	①棟数 ②戸数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	継続	①18棟 ②758戸 ○
	2018年度		①18棟 ②758戸 △
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	・整備計画がないため、実績はありませんでした。		
課題および今後の方向性	・市内における整備率の推移を注視します。		

事業名	イ. 有料老人ホーム(介護付・介護専用)の普及		
評価	指 標	①施設数 ②定員数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	継続	①37施設 ②3,261人
	2018年度		①38施設 ②3,317人
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	・有料老人ホームサニーライフ玉川学園(56人)が開設しました。		
課題および今後の方向性	・利用状況や市内における整備率の推移、及び東京都高齢者福祉計画に基づき東京都が示す整備可能定員数を注視します。		
事業名	ウ. 養護老人ホーム		
評価	指 標	①施設数 ②定員数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	継続	①1施設 ②50人
	2018年度		①1施設 ②50人
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	・環境上・経済上の理由により居宅での生活が困難な高齢者を措置による施設入所を行い、支援しました。		
課題および今後の方向性	・在宅で生活上の課題を抱えている高齢者の入所相談について、それぞれの人に合った施設の情報を提供していくように努めます。		

基本目標 3	自分に合った施設や住まいの選択
基本施策 (2)	地域に密着した介護保険サービスの提供【重点】

計画p.73~/修正p.26~

施策 ① 地域に密着した介護保険サービス施設の整備推進

事業名	ア. 地域密着型サービス整備(認知症高齢者グループホーム)		
評価	指 標	①施設数 ②定員数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	拡充	①23施設 ②378人
	2018年度		①23施設 ②378人
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 整備予定とした3施設すべてを公募し、2施設を選定しました。 		
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 選定した施設に対しては、引き続き、整備に向けた支援を行います。 公募結果を踏まえ、公募内容の見直しを行います。 		
事業名	ア. 地域密着型サービス整備(認知症対応型デイサービス)		
評価	指 標	①施設数 ②定員数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	継続	①23施設 ②389人
	2018年度		①23施設 ②389人
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 現施設の稼働率等を考慮し、整備は行わないこととしているため、実績はありませんでした。 		
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 整備については、高齢化率や稼働率の推移を注視しながら、慎重に検討する必要があります。 		
事業名	ア. 地域密着型サービス整備((看護)小規模多機能型居宅介護)		
評価	指 標	①施設数 ②定員数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	拡充	①6施設 ②151人
	2018年度		①6施設 ②151人
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> 整備予定とした4施設すべてを公募し、3施設を選定しました(うち1施設辞退)。 		
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 選定した施設に対しては、引き続き、整備に向けた支援を行います。 公募結果を踏まえ、募集内容の見直しを行います。 		

基本目標 3	自分に合った施設や住まいの選択
基本施策 (3)	介護保険施設の整備【重点】

計画p.76~/修正p.28~

施策 ① 特別養護老人ホームなどの施設整備の推進

事業名	ア. 広域型介護保険施設整備(特別養護老人ホーム)		
評価	指 標	①施設数 ②定員数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	継続	①22施設 ②2,059人
	2018年度		①23施設 ②2,149人
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	・グランハート悠久園(90人)が開所しました。		
課題および今後の方向性	・サービス量と待機者の動向や実態等を勘案し、今後の整備のあり方を検討します。		

事業名	ア. 広域型介護保険施設整備(介護老人保健施設)		
評価	指 標	①施設数 ②定員数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	継続	①6施設 ②720人
	2018年度		①6施設 ②720人
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	・整備予定とした1施設を公募し、選定しましたが、辞退となりました。		
課題および今後の方向性	・募集結果を踏まえ、募集内容の見直しを行います。		

基本目標 4	安心して介護保険サービスを利用できる環境づくり
基本施策 (1)	介護保険サービスの質の向上

計画p.79~/修正p.29~

施策 ① 介護保険サービスの質の向上

事業名	ア. 福祉サービス第三者評価受審助成等事業		
評価	指 標	普及啓発	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度		実施
	2018年度		実施
	2019年度		
	2020年度		
2018年度の具体的な取組・成果	2021年度	事業者及び市民を対象にした普及啓発	
		・市内事業所向けに福祉サービス第三者評価の受審を勧奨するメールを送信しました。	
		・市民向けに高齢者向けイベントにおいて第三者評価を紹介するコーナーを設置しました。	
課題および今後の方向性		・引き続き、事業者・市民に向けた普及啓発を実施します。	
事業名	イ. 介護相談員派遣事業		
評価	指 標	訪問施設数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	継続	35施設
	2018年度		35施設
	2019年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果		・特別養護老人ホーム等の35施設へ介護相談員の派遣を行いました。入居者の声を聞き、それを施設に伝え、サービスの質の向上を図りました。	
		・介護相談員の報告に応じて、随時施設へフィードバックを行っています。	
課題および今後の方向性		・2019年4月から、特別養護老人ホーム1か所の訪問を追加しました。	
		・2019年10月からは、特定施設への介護相談員の派遣を拡大し、より多くの介護施設利用者の声を聞き、サービスの質の向上を図ります。	
		・介護相談員派遣事業の拡充に合わせ、事務局業務を委託し、業務の効率化を図ります。	
事業名	ウ. ケアマネジメントの充実		
評価	指 標	実施事業所数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	60事業所	69事業所
	2018年度		73事業所
	2019年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果		・町田市で10事業所、高齢者支援センターで63事業所に対して、ケアマネジメント勉強会を実施しました。	
		・勉強会後、事業所に見直し後のケアプランを提出してもらい、それに対する支援者のコメントを送付するようにしたことで、事業所への支援が充実しました。	
		・高齢者支援センターや居宅介護支援事業所で構成する町田市主任介護支援専門員協議会において、各圏域で実施する勉強会の運営方法の共有及び課題の整理を行い、勉強会の充実と質の向上を図りました。	
課題および今後の方向性		・自立支援型ケアマネジメントを支援するために、今後も勉強会を継続します。	
		・リ・アセスメント支援シートの理解をより促進するため、各圏域で研修を実施します。	
		・2018年度から一定回数以上の訪問介護(生活援助中心型)を利用する場合、市に届出が義務付けられたことから、届出があった事業所に対し、ケアプランの妥当性を主任介護支援専門員と検討するため、勉強会への参加を促します。	

基本目標 4	安心して介護保険サービスを利用できる環境づくり
基本施策 (2)	介護人材の育成・確保

施策 ① 介護人材の育成・確保の支援

事業名	ア. 介護人材開発事業		
評価	指 標	研修参加人数	進捗評価
	2017年度	目標値 拡充	実績値 1,659人 ○
	2018年度		2,381人 ◎
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	<p>・就職面接会、市民向け講習会、介護従事者向け各種研修等を開催しました。</p> <p>・事業所のニーズに沿った出張訪問型の研修を実施することで、大幅に参加人数が増加しました。</p>		
課題および今後の方向性	<p>・介護の現場は慢性的な人手不足が続いているため、研修や面接会については、介護保険事業所のニーズに応じた内容の充実が必要です。</p>		

基本目標 4	安心して介護保険サービスを利用できる環境づくり
基本施策 (3)	保健・福祉・医療の連携

計画p.81~/修正p.31~

施策 ① 医療と福祉の連携

事業名	ア. 認知症電話相談		
評価	指 標	電話相談件数	進捗評価
	2017年度	目標値	実績値
	2018年度		238件 ○
	2019年度		165件 △
	2020年度		
	2021年度	350件	
2018年度の具体的な取組・成果	2017年度に引き続き、認知症疾患医療センターである鶴川サナトリウム病院に委託し、電話による相談対応を行っています。相談件数は165件でした。		
課題および今後の方向性	引き続き、認知症の方やその介護者に対する相談対応を行います。		
事業名	イ. 認知症地域支援推進員の育成		
評価	指 標	認知症地域支援推進員数	進捗評価
	2017年度	目標値 継続	実績値 51人 ○
	2018年度		45人 ○
	2019年度		
	2020年度		
	2021年度		
2018年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者支援センターを中心に45名の認知症地域支援推進員を配置しました。 ・情報共有等を目的とした認知症地域支援推進員連絡会や認知症地域支援推進員を含む高齢者支援センターの職員の能力向上のためDASC研修やライフサポート研修を行いました。 		
課題および今後の方向性	引き続き、認知症地域支援推進員連絡会や研修を行い、認知症地域支援推進員の能力向上を図ります。		